

2021（令和3）年10月22日

HPVワクチン（シルガード9）の
副反応疑い報告状況について

○組換え沈降9価ヒトパピローマウイルス様粒子ワクチン（酵母由来）

商品名：シルガード9水性懸濁筋注シリンジ

製造販売業者：MSD株式会社

販売開始：令和3年2月

効能・効果：ヒトパピローマウイルス6、11、16、18、31、33、45、52及び58

型の感染に起因する以下の疾患の予防

- ・子宮頸癌（扁平上皮細胞癌及び腺癌）及びその前駆病変（子宮頸部上皮内腫瘍（CIN）1、2及び3並びに上皮内腺癌（AIS））
- ・外陰上皮内腫瘍（VIN）1、2及び3並びに腔上皮内腫瘍（VaIN）1、2及び3
- ・尖圭コンジローマ

副反応疑い報告数

（令和3年4月1日から令和3年6月30日報告分まで：報告日での集計）

令和3年4月1日から令和3年6月30日までの医療機関への納入数量を接種可能なべ人数とし、副反応疑い報告頻度を計算したものは以下のとおり。なお、製造販売業者によると、接種スケジュールを勘案し、これまでの1人あたりの接種回数を1.4回として出荷数量より推計した接種者数は、13,054人とのことである。

※報告日での集計のため、以下の件数には接種日や発生日が対象期間以前の症例も含まれている。

（単位：例）

対象期間	接種可能なべ人数 ^{注1)} (回数)	製造販売業者からの報告	医療機関からの報告	
		報告数 () : 接種日が左記期間内の症例	報告数 () : 接種日が左記期間内の症例	
		報告頻度	報告頻度	うち重篤 ^{注2)}
令和3年4月1日	12,846	8 (3)	0 (0)	0 (0)
～令和3年6月30日		0.062% (0.023%)	0% (0%)	0% (0%)
(参考) 販売開始からの累計	18,275	9	0	0
		0.049%	0%	0%

（注意点）

注1) 販売開始からの累計接種のべ人数は、返品された数を加味した場合

注2) 「(参考) 販売開始からの累計」は、医療機関から症状の程度が「重い」として報告された事例の累計。「令和3年4月1日～令和3年6月30日」は、医療機関から症状の程度が「重い」として報告された事例に加えて、医療機関からの報告では症状の程度が「重くない」とされた事例であっても、製造販売業者の調査の結果、重篤と判断された事例も集計。

令和3年4月1日から令和3年6月30日報告分の重篤例の転帰

（単位：例）

	製造販売業者からの報告						医療機関からの報告					
	回復/軽快	未回復	後遺症	死亡	不明	計	回復/軽快	未回復	後遺症	死亡	不明	計
重篤例数	4	2	0	0	2	8	0	0	0	0	0	0

（注意点）

※ 副反応疑い報告については、医薬品との因果関係が不明なものを含め、製造販売業者又は医療機関から報告されたものであり、個別に医薬品との関連性を評価したものではありません。

※ 「重篤」とは、死亡、障害、それらに繋がるおそれのあるもの、入院相当以上のものが報告対象とされているが、必ずしも重篤でないものも「重篤」として報告されるケースがある。

※ 非重篤症例には、重篤度が不明の症例も含まれている。

※ 製造販売業者からの報告は、医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律第68条の10に基づき「重篤」と判断された症例について報告されたものである。なお、製造販売業者からの報告には、医療機関から報告された症例と重複している症例が含まれている可能性があり、重複症例は、医療機関報告として計上している。また、その後の調査等によって、報告対象でないことが確認され、報告が取り下げられた症例が含まれる可能性がある。

※ 製造販売業者からの報告には、複数の製造販売業者から重複して報告されている症例が含まれている可能性がある。

HPVワクチン(シルガード)の副反応疑い報告状況

令和3年2月1日から令和3年6月30日までの報告数及び症状種類別報告件数は以下のとおり。医療機関からの報告については、報告医が「重篤」としたものを集計した。

	医療機関からの報告	製造販売業者からの報告	令和3年2月～令和3年3月までの企業報告と医療機関重篤症例の総計数	医療機関からの報告	製造販売業者からの報告	令和3年4月～令和3年6月までの企業報告と医療機関重篤症例の総計数
報告数		1	1		8	8
症状別総件数		2	2		11	11
症状名の種類	症状の種類別件数					
胃腸障害						
下痢					2	2
神経系障害						
意識消失					2	2
感覚鈍麻					1	1
失神		1	1			
知的能力障害					1	1
痙攣発作		1	1			
腎および尿路障害						
ループス腎炎					1	1
生殖系および乳房障害						
月経困難症					1	1
頻発月経					1	1
妊娠、産褥および周産期の状態						
流産					1	1
皮膚および皮下組織障害						
紫斑					1	1

HPVワクチン(シルガード) 重篤症例一覧
(令和3年4月1日から令和3年6月30日までの報告分)

製造販売業者からの報告

No	年齢 (発生時)	性別	接種日	ワクチン名 (ロット番号)	同時接種	基礎疾患等	症状名	発生日	接種から症状発生 までの日数	報告者 重篤度	企業 重篤度	転帰日	転帰内容
1	19歳	女	2021年4月8日	シルガード	なし	血圧低下	意識消失	2021年4月8日	0	重篤	重篤	2021年4月8日	回復
2	19歳	女	2021年4月7日 2021年6月16日	シルガード	なし	なし	紫斑	2021年6月16日	0	重篤	重篤	不明	軽快
3	16歳	女	2021年6月11日	シルガード	なし	過敏性腸症候群	頻発月経、月経困難症、下痢	2021年6月11日	0	重篤	重篤	不明	未回復 (報告日: 2021/6/25)
4	31歳	女	2021年2月24日	シルガード	なし	なし	流産	2021年5月6日	71	重篤	重篤	不明	不明
5	21歳	女	2021年3月31日 2021年	シルガード(T029366)	なし	なし	意識消失	2021年3月31日	0	重篤	重篤	2021年3月31日	回復
6 ^{注1}	24歳	女	不明	ガーダシルまたはシルガード	なし	なし	ループス腎炎	不明	不明	重篤	重篤	不明	軽快
7	17歳	女	不明	シルガード	なし	なし	感覚鈍麻、下痢	2021年6月11日	不明	重篤	重篤	不明	未回復 (報告日: 2021/6/25)
8 ^{注1, 2}	不明	女	不明	ガーダシルまたはシルガード	なし	なし	知的能力障害	不明	不明	重篤	重篤	不明	不明

注1: 製品名不明であり、ガーダシルまたはシルガードとして製造販売業者から報告されている。

注2: 製造販売業者の入手情報で、「HPVワクチンを接種しない理由」に関する設問で「友達の子供が知能や神経に障害が出たから」との回答を原資料として製造販売業者から報告された事例
※複数の製造販売業者から重複して報告されている症例が含まれている可能性がある

HPVワクチン(シルガード)接種後のアナフィラキシー[※]が疑われる症例まとめ(重篤症例)

※【選択基準】

症状名が、「アナフィラキシー」、「アナフィラキシー反応」、「アナフィラキシーショック」、「アナフィラキシー様反応」、「アナフィラキシー様ショック」として報告された症例。

報告期間	報告数 ^{※※}	専門家の評価によりアナフィラキシーのプライトン分類評価が3以上とされた症例	推定接種人数
令和3年2月～令和3年3月	0	0	5,429人
令和3年4月～令和3年6月	0	0	12,846人

※※(注意点)

- ・ 報告日での集計のため、報告数には対応する報告期間より以前に接種又は発生した症例も含まれる。
- ・ 同一の症例が複数の製造販売業者や医療機関から重複して報告されている可能性がある。報告内容から重複であることが確認できれば重複を排除して集計しているが、重複か否か判断できない場合はそのまま計上している。